

【資料1】

行田市下水道事業の経営状況

令和5年8月21日（月）

行田市 都市整備部 上下水道経営課

はじめに 公営企業とは

公営企業とは

地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業です。
行田市では、水道事業と公共下水道事業の2事業があります。

・公共下水道事業と水道事業の相違点

	公共下水道事業	水道事業
会計	公営企業会計	公営企業会計
法適用	一部適用	全部適用
職員の身分	一般職員	公営企業職員
退職金	一般会計	一部水道事業会計

・独立採算制の原則

【地方公営企業法第17条の2】

※① その性質上公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費及びその公営企業の性質上能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが困難な経費については、一般会計又は他の特別会計において負担し、 ※② それ以外の経費については、公営企業の経営に伴う収入をもって充てる。

※①雨水処理

雨が降ることは自然現象なので、家屋等の浸水から守ることが地域全体に受益が及ぶため一般会計が負担するものです。

※②汚水処理

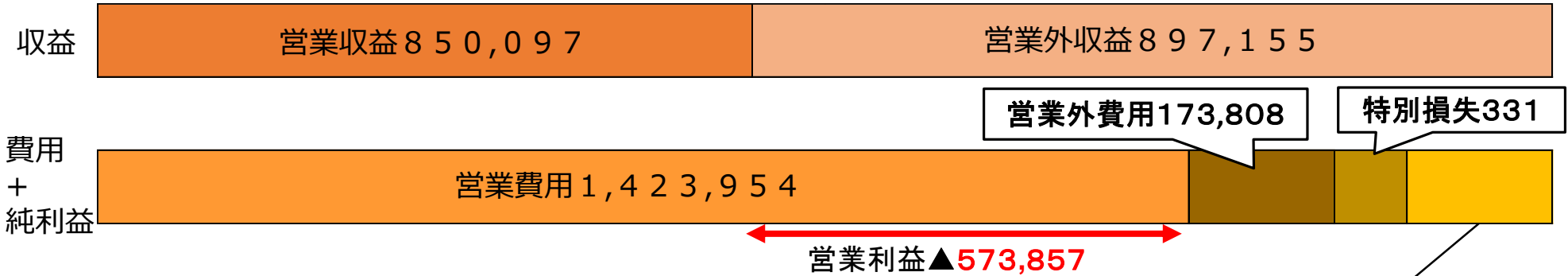
汚水を処理することを受益としているため処理区域内の特定の使用者が負担するものです。

令和3年度 公共下水道事業決算状況

単位：千円 税抜

損益計算書【1年間の経営成績】

$$\text{収益合計} = \text{費用合計} + \text{純利益} = 1,747,252$$

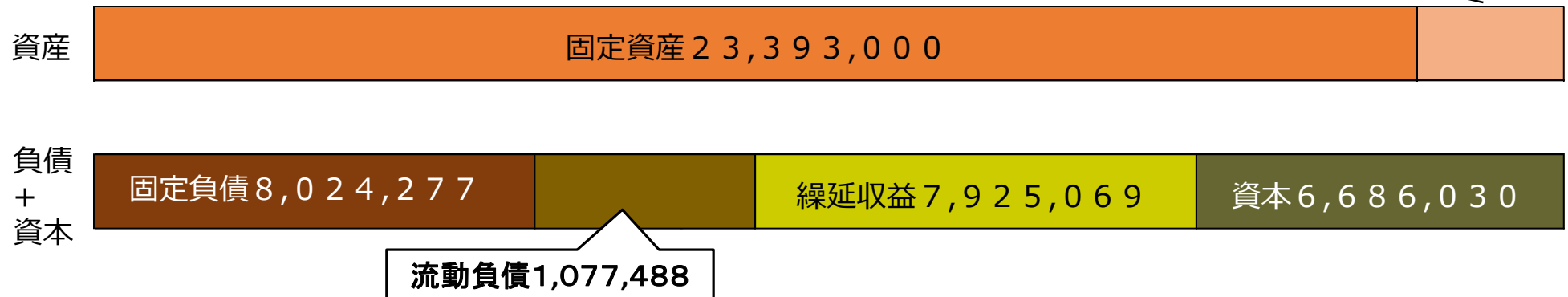


純利益は、建設改良費の不足額に補てん

純利益 149,159

貸借対照表【公共下水道事業の財政状況】

$$\text{資産合計} = \text{負債合計} + \text{資本} = 23,712,864$$

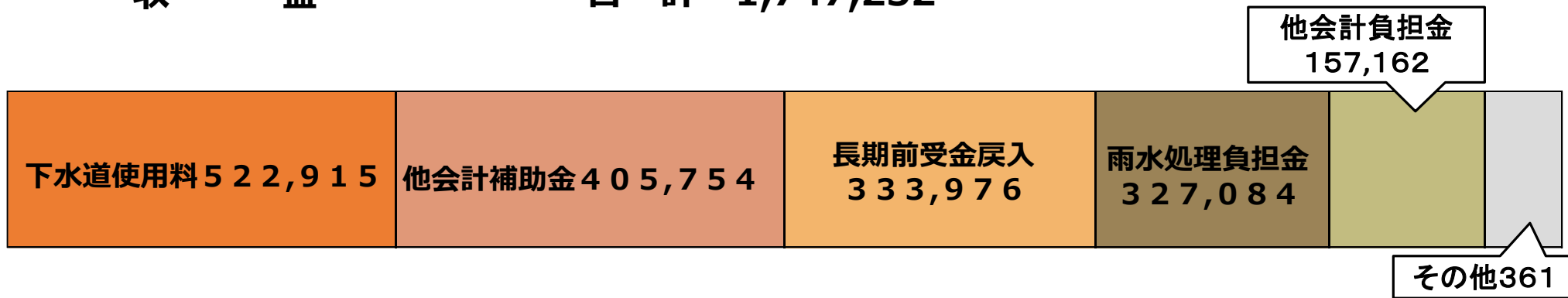


令和3年度 決算内訳【3条 収益的収支】

収 益

合 計 1,747,252

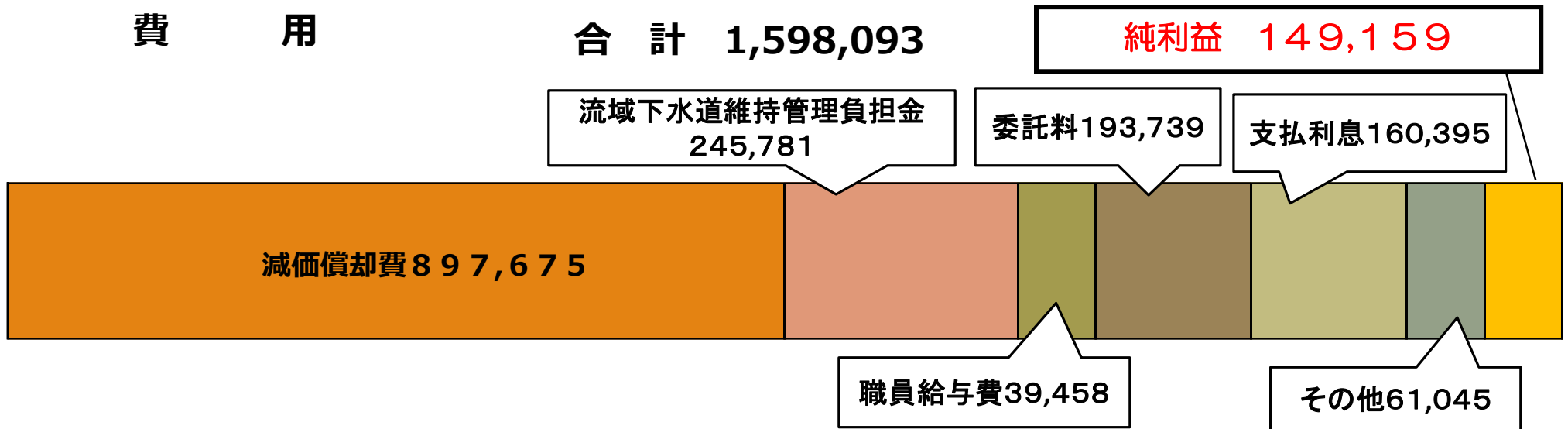
単位：千円 税抜



費 用

合 計 1,598,093

純利益 149,159

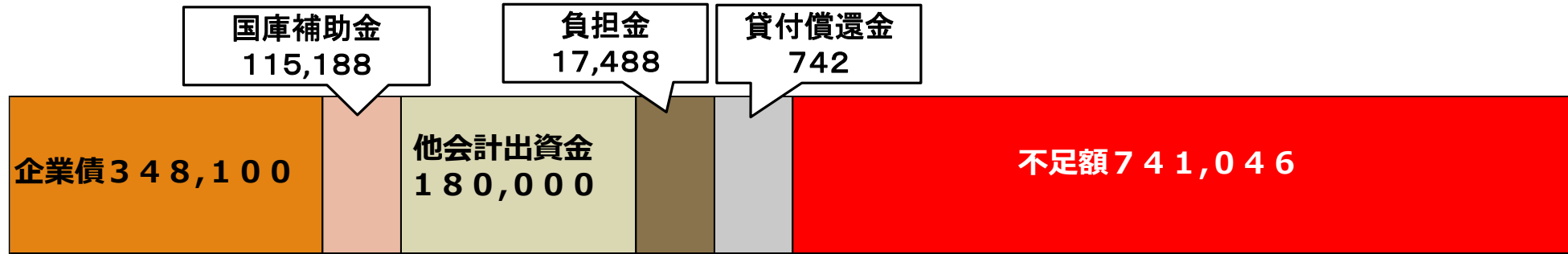


令和3年度 決算内訳【4条 資本的収支】

合計 661,518

単位：千円 税込

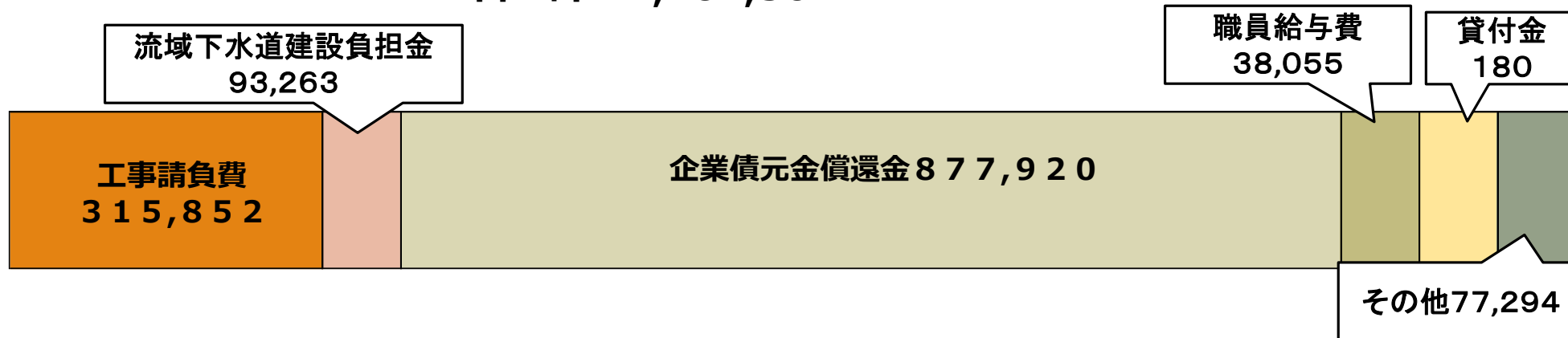
収入



資本的収入及び支出において、収入661,518千円、支出1,402,564千円となり、不足額741,046千円は、当年分消費税及び地方消費税資本的収支調整額33,791千円、当年度分損益勘定留保資金563,699千円及び当年度利益剰余金処分量143,557千円で補てんしました。

合計 1,402,564

支出



令和3年度 決算内訳【他会計繰入金】

公共下水道事業は、独立採算性で経営を行っておりますが、現状では一般会計からの繰入金があつて成り立っている状況です。

3条 収益的収入

基準内（一般会計が負担するもの）		基準外	
雨水処理負担金	327,084,000円	他会計補助金	405,754,000円
他会計負担金	157,162,000円		
合計	484,246,000円	合計	405,754,000円

4条 資本的収入

基準内（一般会計が負担するもの）		基準外	
他会計出資金	169,238,000円	他会計出資金	10,762,000円
合計	169,238,000円	合計	10,762,000円

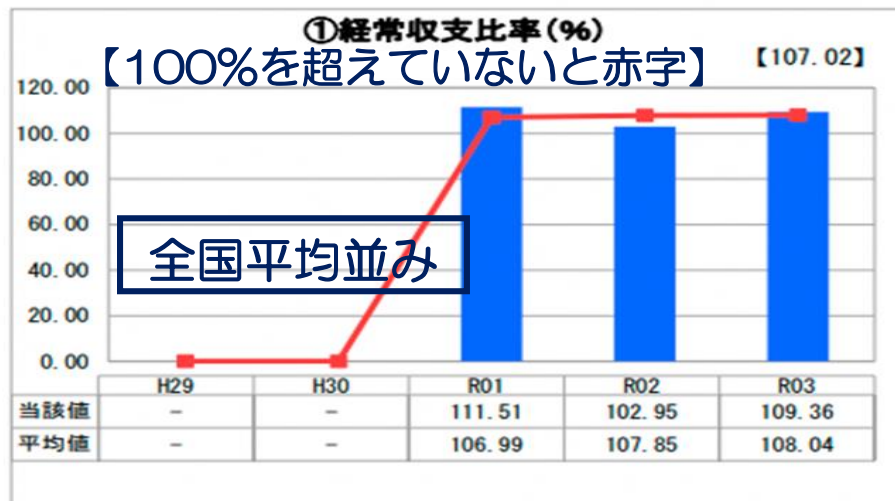
令和3年度の他会計繰入金合計は、1,070,000,000円でした。

そのうち一般会計が負担しなくてもよい基準外繰入金は、416,516,000円となっております。

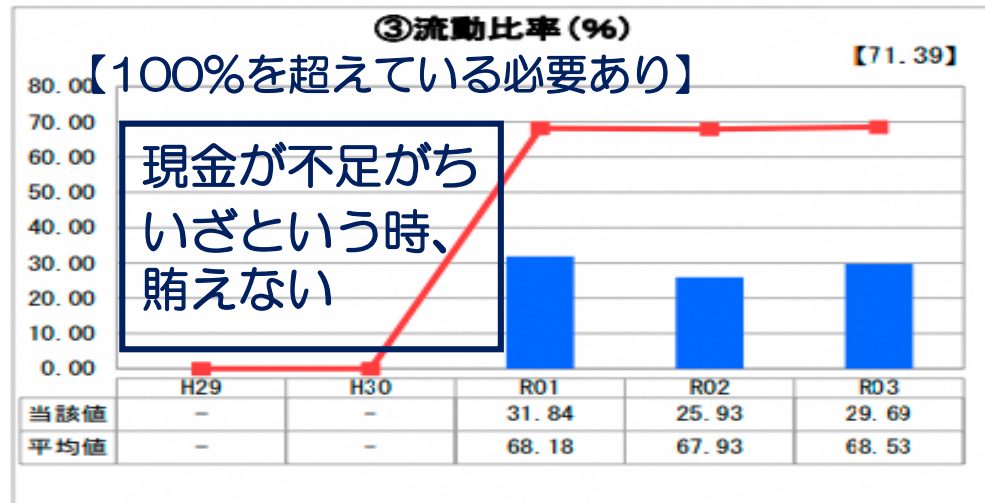
令和3年度末の下水道普及率は、57.06%で半数以上となっておりますが、未普及の方（約43%）からも負担していただいで公共下水道事業を経営している状況です。

経営の健全性

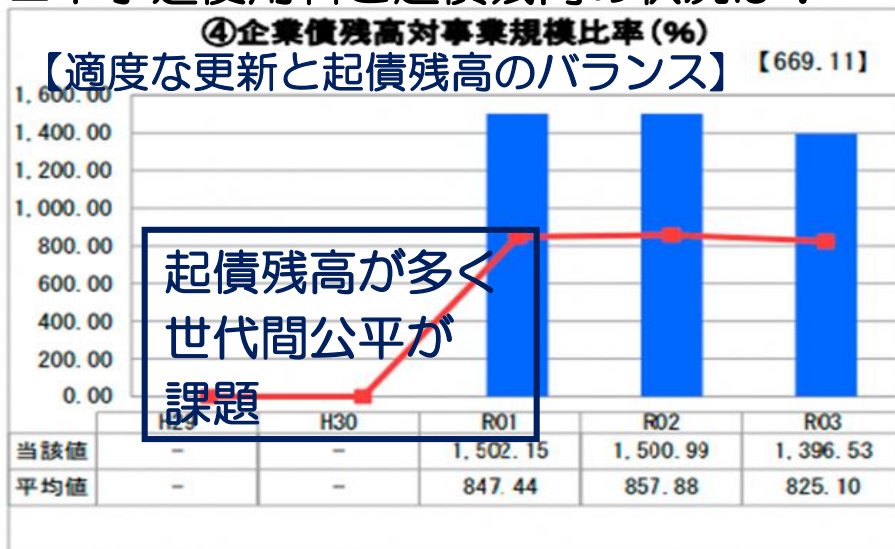
■水を処理する費用が、収益で賄えているか？



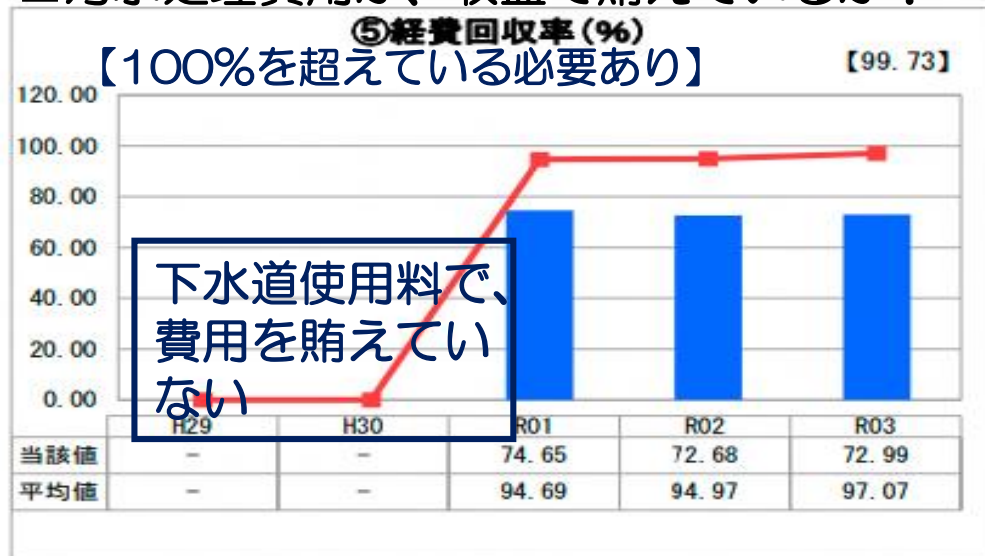
■短期的な債務の支払い能力があるか？



■下水道使用料と起債残高の状況は？

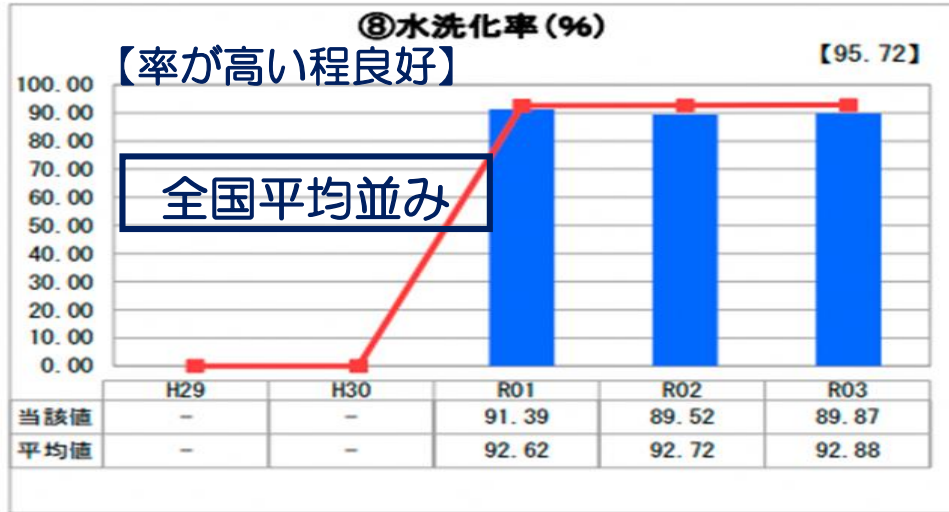


■汚水処理費用が、収益で賄えているか？

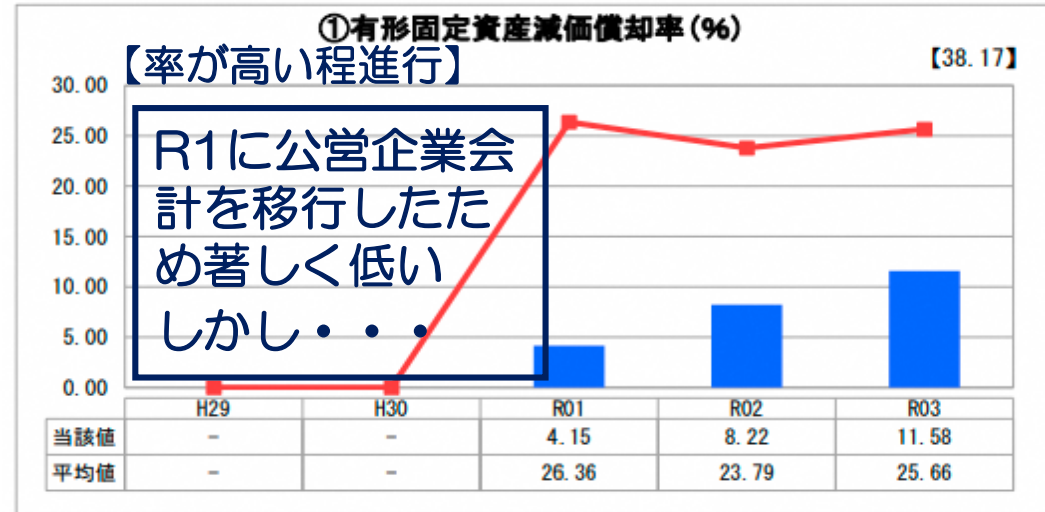


老朽化の状況

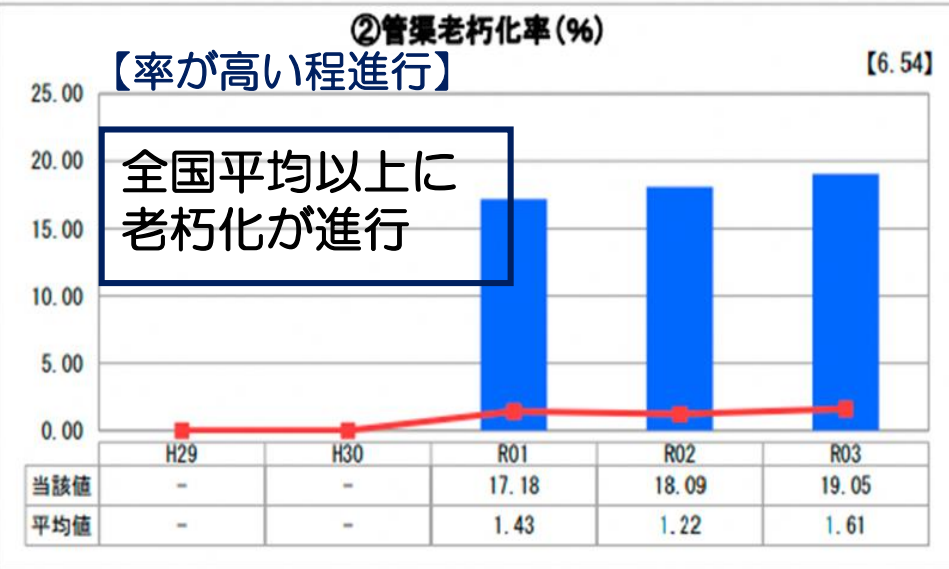
■ 水洗便所を設置している汚水処理人口割合は？



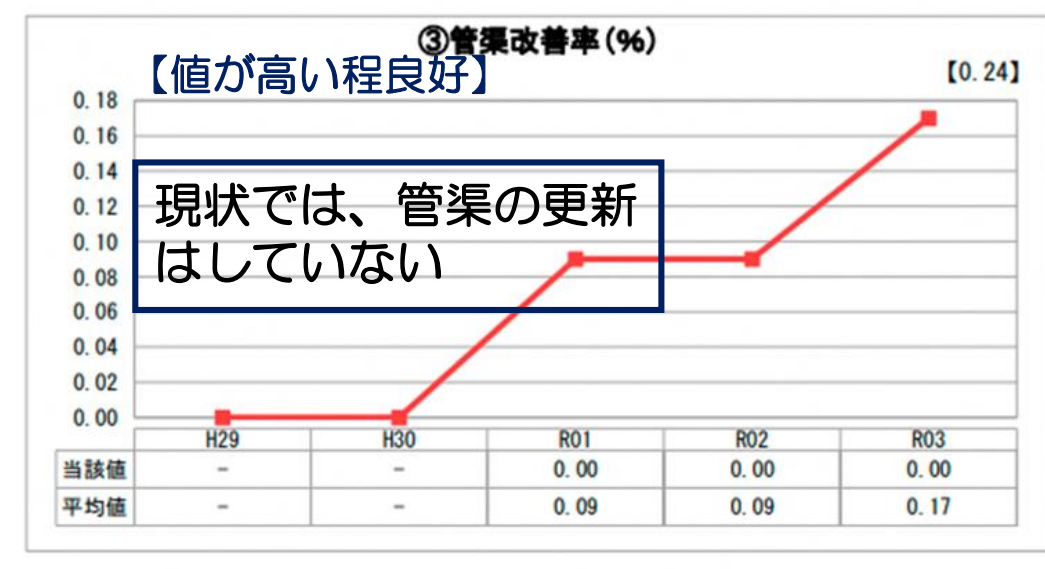
■ 減価償却がどれだけ進んでいるか？



■ 耐用年数を超えた管渠がどれだけあるか？



■ 管路をどれだけ更新しているか？



本市と近隣事業者のR3経営指標①

令和3年度経営比較分析表

1 基本情報

指標名	行田市	熊谷市	鴻巣市	北本市	桶川市	羽生市	加須市	深谷市
処理区域内人口（人）	45,088	92,484	91,957	49,167	61,474	19,924	57,774	83,553
処理区域面積（km ² ）	9.32	18.91	14.96	6.18	8.09	4.36	9.79	18.73
処理区域内人口密度（人/km ² ）	4,837.77	4,890.75	6,146.86	7,955.83	7,598.76	4,569.72	5,901.33	4,460.92
自己資金構成比率（％）	61.62	69.56	69.08	69.61	75.99	64.26	63.96	66.60
普及率（％）	57.06	47.81	78.21	74.72	82.30	36.91	51.61	58.84
有収率（％）	67.13	75.79	81.30	75.29	80.62	82.45	88.73	82.41
1か月20m ³ 使用料（円）	2,035	2,042	2,310	1,980	1,980	1,925	1,952	3,520

2 老朽化の状況

指標名	行田市	熊谷市	鴻巣市	北本市	桶川市	羽生市	加須市	深谷市
有形固定資産減価償却率（％）	11.58	11.68	30.18	17.75	11.38	8.80	45.45	79.65
管渠老朽化率（％）	19.05	7.12	0.00	0.99	0.00	0.00	0.00	0.00
管渠改善率（％）	0.00	0.41	0.00	0.00	0.00	3.48	0.00	0.00

本市と近隣事業者のR3経営指標②

3 経営の健全性・効率性

令和3年度経営比較分析表

指標名	行田市	熊谷市	鴻巣市	北本市	桶川市	羽生市	加須市	深谷市
経常収支比率 【黒字or赤字】	109.36	108.84	102.39	108.08	101.25	100.02	105.20	101.28
累積欠損金比率 【累積した損失の有無】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流動比率 【短期的な支払い能力】	29.69	25.86	142.98	56.02	25.33	50.75	54.80	64.46
企業債残高対 給水収益比率 【借入金の規模】	1396.53	1029.33	413.30	624.34	534.80	2214.61	776.57	957.31
経費回収率 【収益と費用の比】	72.99	79.51	76.11	75.63	68.02	66.65	70.09	99.93
汚水処理原価（円） 【汚水进行处理する単価】	150.00	150.00	148.97	129.91	150.00	150.00	150.00	182.92
施設利用率 【施設の余裕度】	-	42.19	-	-	-	52.66	50.42	63.07
水洗化率 【水洗便所の設置の比】	89.87	93.16	94.88	99.44	95.29	90.30	85.52	89.34